

生きたヒノキと漆喰壁を使った「いい家」を 体感できるカンザキ建設の桜匠館

無垢の木と漆喰にこだわって家づくりをするカンザキ建設。

同社・神崎隆洋社長が語る、自然の持つ力とは



カンザキ建設の家を建てる工程を公開している「桜匠館」では、無垢の木の良さを体感でき、地震に強い構造などを実際に見ることができる

科見学の一環として、生きた家の資料館「桜匠館」がお役に立つことを願っております。神崎社長が考える、日本の風土に合った「いい家」を体感しに、一度訪ねてみてはいかがでしょうか。

「無垢の木と漆喰で建てる」を社是として、自然乾燥させた材木と自然素材による漆喰壁の建築を数多く手掛けているカンザキ建設。同社社長で一級建築士でもある神崎隆洋氏が、ポリシーともいえる家づくりへの思いを語ってくれた。

「生きたヒノキは1000年持ちます。これは、ヒノキ材を使った世界最古の木造建築、法隆寺が証明しています。修繕や手入れを加えながら1400年建ち続けている。一般的な合板や集成材を使った家は、いわゆる生きていない木で建てている

ため、強度や耐久性、快適性で生きたヒノキや漆喰とは比較になりません。これは科学的に明白なことなんです」

例えば、カンザキ建設が用いる自然乾燥させたヒノキや青森ヒバはつねに呼吸をしているので湿度を自然に調節し、生活の臭いも吸収して部屋をいい香りで満たしてくれるという。自然の漆喰壁も同様に結露を防ぎ、

空気を浄化して、住む人の健康にとってもいい。「建築は大きく捉えると文化です。カンザキ建設は建築を通して社会貢献をしよう」と「桜匠館」を建てています。一般の方ももちろん、小学生や中学生の社会



カンザキ建設の 現場見学会場「桜匠館」

ヒノキの柱や梁、青森ヒバの土台などを実際に見て、触れる建設現場を公開しています

見学予約受付中

☎03-3397-1150

東京都杉並区浜田山4-10-8